

JR姫路駅北駅前広場整備に関する提言

2009年7月

JR姫路駅北駅前広場整備 公開専門家ワークショップ
専門家グループ

JR姫路駅北駅前広場整備に関する提言

「姫路駅北駅前広場整備推進会議」で合意された「姫路駅北駅前広場デザインコンセプト」を明確に空間化し、世界に冠たる駅前広場を創造すべきである。

[景観]

- 1 オープンスペースについては、防災機能や賑わいを持たせるため、細かく分散させるより大きく集約することが好ましい。中央コンコース前のおもてなし広場は、世界遺産の姫路城と対峙する質の高いデザインが求められる。
- 2 多くの人々が入り出る中央コンコースの前には広い広場が必要であり、姫路城への眺望に加え、東西各エリアへの視認性を確保する必要がある。JR駅ビルの北西側のコーナーは眺望を阻害しないデザインが求められる。
- 3 JR姫路駅の出入り口周辺に、二層の高さで姫路城を眺望できる視点場があることが好ましい。デッキのデザインは下から見た景観に配慮すべきである。
- 4 姫路城側から見た駅前景観も重要である。モニュメントのありかたやJR駅ビルの表情のデザインを注意深く考える必要がある。
- 5 大手前通りから姫路城を望む中央の軸を確保するため、東西地域のバランスを考えながら、公共交通の軸を中心からはずす計画の検討もすべきである。

[交通]

- 6 駅前広場のレイアウトで最も重要な点は、長期的視点から考え、大手前通りと駅前広場の交通機能の将来的な拡張性を担保することである。
- 7 バスやタクシーのロータリーは、利用者の安心安全を考え、可能な限りシンプルにするべきである。現在提案されているバスロータリーのシステムには交通計画上の課題があるため、今後、詳細な検討が必要とされる。
- 8 大手前通りのトランジットモールの考え方は我が国でも先駆的な試みとなる。関係者の合意を得ながら、ぜひ実現してもらいたい。

[安全な移動経路]

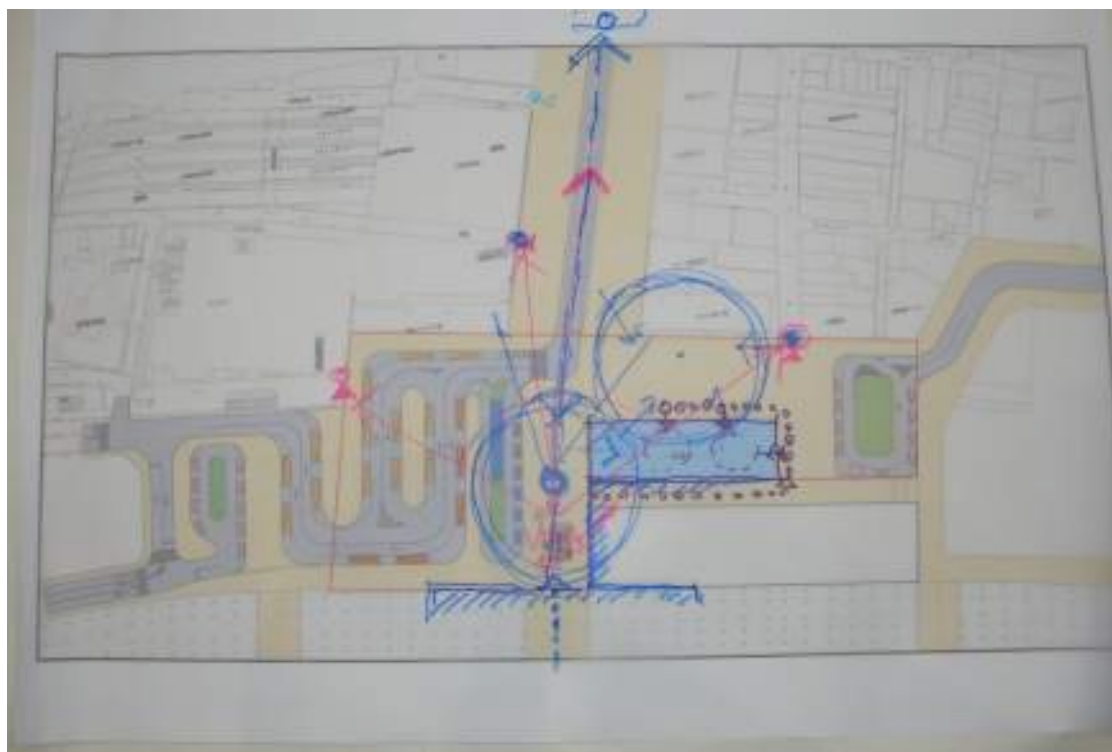
- 9 JR姫路駅から、誰もが安全に、地下街への移動、山陽電鉄やバスへの乗換えができることが重要である。JR姫路駅の構内から連続性を持たせ、徹底的にバリアフリーの整備を進める必要がある。

[エリアマネジメント]

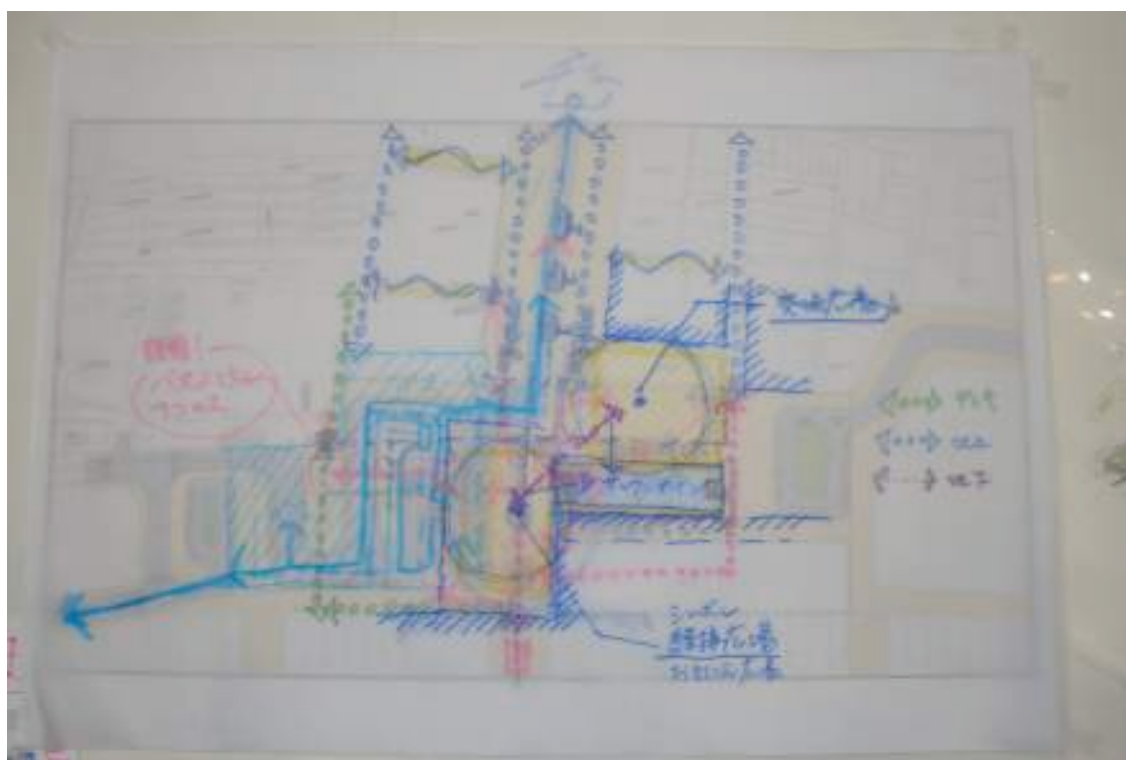
- 10 広場の活用および運営・管理には、市民や商業者の協力が必須である。公民が協力し、強力なエリアマネジメント体制を構築する必要がある。

以上の検討により、③案を軸に計画を進めることを推薦する。

JR姫路駅北駅前広場整備 公開専門家ワークショップ 専門家グループ
小浪博英 (帝京平成大学)
小林正美 (明治大学)
中井検裕 (東京工業大学)
出口 敦 (九州大学)
松本 滋 (兵庫県立大学)
森本章倫 (宇都宮大学)
(アイウエオ順)



広場からの視認性の確保： 姫路駅中央コンコース前の広場から、各商店街の入り口などが容易に視認できることが重要である



広場の役割分担： 姫路城と対峙する中央広場、賑わいを演出する交流広場、くつろげるサンクンガーデンなど、まとまった大きさの公共スペースが各々明確な性格を持ち、役割分担することが好ましい。バスのロータリーは、大手前通りの降車や南口の利用も含めて検討し、出来るだけ経路の短いシンプルな形態とし、中央のおもてなし広場の広さを確保することが重要である。